



今夏は「スポーツのまちづくり事業」等の推進によって大学のスポーツ合宿や全国・東北規模の大会が開催されました。これらの事業は近年、大仙市をはじめとする他自治体も力を注いでいます。横手市は施設環境面から野球、バレーボール、バスケットボール、陸上競技を重点種目にしていくようです。「スポーツによる地域活性化」の推進は市議会でも広がりをもっており、青山ゆたかも賛同する各議員と共にこの政策の強化に取り組んでいきます。

スポーツ合宿・大会で地域活性化!

9月定例会で配付された「行政一般報告」の中で、今年度当初予算に盛り込まれていた「中学生海外派遣事業」を断念するという報告がありました。旧大森中学校で実施されていた際、受け入れて頂いたオーストラリアの学校から受け入れ困難との意思が示されたとの事。この事業は青山ゆたかをはじめ、多くの議員が当局に提言した末の予算計上であったため、残念でありません。改めて「再開の難しさ、継続の大切さ」を痛感したところではあります。担当者によると「何とか受け入れ先を探して来年度以降は実現したい」との事でしたので、望みはつないでいきたいと思えます。

中学生海外派遣事業を断念

8月～9月に行われた主なスポーツ合宿・大会

期間	種目	団体・大会名	参加人数	会場
8.4～8.9	硬式野球	中央学院大学	46名	グリーンスタジアムよこて
8.6～8.10	女子バスケットボール	玉川大学	45名	大森体育館
8.6～8.16	硬式野球	日本体育大学	104名	グリーンスタジアムよこて スタジアム大雄
8.8～8.12	軟式野球	全国大学軟式野球大会※	600名	グリーンスタジアムよこて 大森球場・平鹿球場
8.17～8.19	バレーボール	東北総体(三二団体)	554名	横手体育館・増田体育館
9.7～9.11	軟式野球	全日本選抜軟式野球選手権	1300名	市内各球場

※大仙市と共催

9月18日
青山ゆたか
決算特別委員会
総括質疑 要旨

アウトソーシングの取り組みについて

質問 23年度から水道料金の業務委託が実施された。給水停止のスパンが短くなり、またコンビニでの収納が可能になる等の努力の結果、収入率も高水準となり、評価しているが、市長の見解は。

答弁 収入率が目標を上回り、一定の評価をしている。また土・日曜日も窓口を開設し、料金支払いや開閉栓の受け付け等を行った。特に引越シーズンに多くの利用者があり、市民ニーズに対応できた。

質問 今後の市事業におけるアウトソーシング導入の方向性について問う。

答弁 第二次行政改革大綱の重点項目「行政と市民・民間の役割分担の明確化」に沿って取り組んでいる。「新しい雇用、新しいサービス、新しい市役所」をつくる意味でのアウトソーシングを目指していきたい。

質問 他自治体ではアウトソーシングに関する「基本的な指針」を策定しているが横手市にはない。行政がしなければならぬもの、民間委託できるものを整理、定義づけし指針を策定すべきだ

答弁 確かに整理して、具体的に…というのは今のところない。ただ第二次行政改革大綱の中で定義はしている。考え方としては「行政にしかできないものは何だろう」というのが基本であると思っている。

質問 愛知県高浜市では市が100%出資した株式会社を設立し、市職員でなくても対応できる業務をそこに委託している。この仕組みを採用すれば横手市役所にいる雇用期間が3年に限られる一般事務非常勤職員の受け皿になり得る。雇用面でも有効だと思いが。

答弁 毎年の職員採用を7名程度に抑えている関係上、結果として各地域に精通した方を採用できていないという課題を抱えている。指摘頂いたことはそれにとどまらない話で、「もったいないな」と

いう非常勤職員がいるのも事実。様々な事例を研究し、前倒しで検討して参りたい。

